

特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

目的

- ①教育・福祉・医療・労働分野等の関係部局や関係機関が連携した体制を整備し支援する仕組の整備
- ②発達の段階を通じ、円滑な情報の共有、引継ぎがなされるよう、就学前段階から就労段階にわたり、各学校等で個別の支援情報に関する「個別の教育支援計画」等を作成し、就学、進級、進学、就労の際に、記載された情報の取扱いについて十分配慮した上で、その内容が適切に引き継がれる仕組の整備



成果

- ①エール（日野市発達・教育支援センター）を中心として、かしのきシート（個別の支援計画）による支援情報の共有と活用し、保護者並びに学校等の負担軽減を図った。また就学・進学時における電子システムによる引継ぎを実施したことにより、関係機関や保護者によるデータ管理の簡略化と情報共有化が実現した。
- ②保健師や臨床心理士、特別支援教育総合コーディネーターや就学相談員、言語聴覚士や作業療法士、スクールソーシャルワーカーなどの専門職による、福祉と教育が一体となった総合的な相談、支援事業を実施している。

事業内容

- ①「かしのきシート」とは、0歳～18歳までの、発達面、行動面、学校生活面において支援を必要とする子供を対象とし、保護者同意を得て、エール（発達・教育支援センター）が中心になって作成する福祉と教育が一体となった「個別の支援計画」である。教育分野で作成している「個別の教育支援計画」や「就学支援シート・進学支援シート」を「かしのきシート」に統合した。
- ②平成27年度に「かしのきシート」の電子システムとして「発達・教育支援システム」の開発を行い、エールを中心に、公立幼稚園と公立保育園、小・中学校のネットワーク化を図った。
- ③特別支援教育に知見のある心理等の専門家を学校等へ派遣し、子供の実態把握により、指導や助言等を行う巡回相談を実施した。
- ④かしのきシート（個別の支援計画）の普及啓発のための運用マニュアルやリーフレット等を作成し、広く市民や関係機関などに配布して、エールの取組について普及啓発を行った。

発達・教育支援センター（エール）の支援体制

発達相談・支援

- 専門指導
 - トレーニング
 - 児童発達支援事業
- 【支援スタッフ】
言語聴覚士作業療法士・保育士 等

総合相談支援

- 心理相談
- かしのきシート
- 不登校など困難ケースへの支援

【支援スタッフ】
心理士、保健師、スクールソーシャルワーカー

特別支援教育

- 就学・進学相談
- 入級・転学相談
- 特別支援教育

【支援スタッフ】
特別支援教育総合コーディネーター
就学相談員

発達・教育支援システムでカルテを一本化して情報を共有